

「台東区における男女平等推進について」自由意見

2023年5月実施「男女平等に関する台東区民意識調査」

- これから少しでも男女ともに暮らしやすい環境になることを望みます。
- 特に必要ない。女性が働いていなくても良い経済支援をするべき。(30代・男性)
- 無意味な町会活動(ex.区長を交えての不忍池のティッシュ配り、清掃など)をやめて<男女平等推進>に関する勉強会や講習会等を増やす。
(60代・女性)
- アンケートの雰囲気は平等と言うより公平に近いと感じました。平等推進はとても大切だが、男女関係なく、能力によって活躍できるよう進めてほしいです。(20代・男性)
- 防災、地域活動について、町会が町に住む人を啓発できる声掛けをもっといねいにやって欲しいと思います。(70歳以上・女性)
- 普段ニュースなどで見かけるワードについて、アンケートを通して学ぶことができました。様々なニーズに対して対応していける社会になればよいなと思います。(40代・女性)
- 正直言って何のことなのかよくわかりません。十分わかるように詳しく説明してほしいです。(40代・男性)
- LGBT法案について、むしろ女性の立場を悪化させることになるので、本プラザ及び台東区の対応部署においては反対されることを希望します。
(60代・男性)
- このようなアンケートが執行されること自体大きな進歩と感じています。男女バイアスが少子化の大きな原因になっていると感じることが多いので、男女平等への意識改革は、未来にとって大きなプラスになると思います。(50代・女性)
- 女性トイレは必要です(20代・女性)

- 区民に発信がすべての分野で低いのではないかと？他区より抜き出る施策は一つもない気がする。
- 区議会の場でもっと女性を増やして欲しい。できたら若い方が良い。
- 現在退職していて、これからは女性の活力が必要と思われます。(70歳以上・男性)
- このようなアンケートはもっと若い女性、母親に質問すべき。私のように年齢を重ねたものには必要ない。それに子供に対する躾、礼儀作法を学んでほしい。男性と女性の脳は違います。おのずと行動、考え方も違います。すべてが女性(男性)の様にはいきません。最近一番感じることは女性らしさ、母親らしさが欠けている様に思えます。私だけでしょうか？(70歳以上・女性)
- 生理痛体験、妊婦体験等、身をもって学べる回数を増やしてほしい。年齢問わず、性別問わず、相手の気持ちを考える機会を増やして欲しい。(40代・女性)
- 男女平等を推進させる一番の近道は、小学校からの適切な体育授業を行うことにより、可能だと思っています。知育、徳育よりも体育の本質の中でこそ健全な育成と生き抜く力を養い、男性女性の成長を心と身体を動力して男女ともに尊重し合い、協力しあう事を学んでいく事が本当の意味で男女平等になると思います。間違った学校教育(体育)を経験してきた大人が平等推進の案を出しても、その場かぎり深く根付かない印象があります(多様性も含めて)。(40代・男性)
- 男女平等と謳う割にアンケート内容が「女性が～」ばかりである。(20代・男性)
- 多くの人に知ってもらえるよう、広報活動(ネット活用など)に力を入れて欲しい。(50代・男性)
- 人には性別があり、体力や出産など性差による能力を認め合えば良い。(50代・男性)
- 児童手当の振込先を世帯主じゃなく選べるようにしてほしい(母親でも子ども名義の口座でもいいじゃないか!?)と思っています)。これが一番差別ですよ。使い込む父親多いと思います。(30代・女性)
- 男女平等推進プラザについて知らない人も結構いるのではないのでしょうか。活動内容等もう少しPRしてはいかがでしょうか。(60代・女性)

- 情報の発信。どこにあるのか、何をやる場所か知らなかったの。(20代・女性)
- どんなことを実施しているのか、成果はどうなのかが見えない。(50代・男性)
- 台東区に限らないが、表面上の男女平等は意味がない。職場で数値を満たすため女性管理職を増やしても、それより適材適所。西洋的価値観が根付いていないのに形だけした鹿鳴館を思い出す。(60代・男性)
- リタイア後につき、難しいアンケートでした。娘の事などを念頭に考えましたが、知らないことも多く、貢献できたとは思えません。そもそも「台東区における」という発想に違和感を感じます。(70歳以上・男性)
- 特に不満などはないが、この推進の目的が何なのかは思う(女性がより幸せになる?)。(40代・男性)
- 老人ですので、男女平等のことなど考えたことがなかった。アンケートの記入は大変でした。昔のことを思い出してみると、今の子供たちは生活にはいいと思いますが、これから大人になるのは大変だと思う。(70歳以上・女性)
- 女性も働かなければならない現代社会において、須らく男女平等の推進はより力を入れて頂きたいと存じます。(70歳以上・女性)
- こんなことを言っても始まりませんが、男と女はもともと全然違うので平等はありえないと思っています。家庭、パートナー間で納得して平等を決めるしかない、その意識が男性側に足りない。世間にも足りないと感じています。教育の場でやるべきことがあるとすれば話し合いでしょうか。もっと話して自分たちで決めることかと思っています。(40代・女性)
- 男女平等推進ではなく、人間として平等推進が必要だと思っています。(60代・女性)
- 男女平等だけでなく、不平等、差別、偏見などあってはなりません。啓発を活発にして社会を変えていってほしいです。(60代・女性)
- どの人も自由に自分の生きかたを選び、法律的にもその人権は守られるべきだと思います。(60代・女性)
- “はばたき21”等、あること(生涯学習センターに)はもっと区民にわかるようにしたほうがよい。ほぼ知らないと感じる。(50代・女性)
- 男女の平等と男女の区別を正しく広報すること。(60代・男性)

- 「こころと生きかたなんでも相談」相談者にはいろいろな専門分野の方からのアドバイス、対処方法、勉強会等を教えて頂きたかった。(70歳以上・女性)
- アンコンシャス・バイアスなどあるので、できるだけ若い世代を入れて彼女、彼ら自身の未来の社会がどうあって欲しいのかを考えてもらい、年輩者はその実現を助けるような体制でお願いします。(40代・女性)
- 議員や管理職に女性比率が低いからといった理由で下駄を履かせて女性登用をせず、平等な視点で評価してほしい。下駄を履かせることは女性に対してのハンディキャップを設けることであり、それこそが差別である。正しい評価をすることが女性の能力向上、ひいては女性登用率の向上につながる。(20代・男性)
- 質問が「増えた」「減った」以外に「変わらない」の選択肢がなく、ずさんな作りとなっている。そうした統計から得られた結果から、どうやって求めるべき答えを見つけるのか知りたい。(50代・男性)
- まずは台東区の区長、区議会議員、区の職員などから男女割合や役割別に偏りが無いかを再考ください。受付は女性が多いとか、区長は男性(しかも高齢)であるとか、本当に推薦したいのであればそういう現状を抜本的に改善すべきです。(30代・女性)
- 町会や公立学校のPTAなどの役割の構成が男女平等の観点から不自然だと思います。町会に婦人部というものがあり、男女別で動くのはなぜでしょうか。また、PTAについてはいつも会長が男性でその他のメンバーは全て女性。学校関連のお手伝いもほぼ母親なのも不自然です。台東区は商売をしているところも多く、両親ともに働いているので、母親だけが仕事と育児両方を担うのは平等ではないと考えます。(50代・女性)
- こちらの分野については興味ありますが、宣伝力が足りないと思います。(20代・女性)
- 他の区ではLGBTに配慮したと言われながら女子トイレが減ったり、銭湯も含め自称女性が利用し、性犯罪に繋がりがねないことやそれに対し対処ができない案件があったと聞きます。差別と区別は別物であるという観点でもって本当の安全が何かを考えていただきたいです。(30代・女性)

- この意識調査の設問や選択肢がひどすぎます。これでは正確な統計調査ができず、こんな調査に税金を使ってほしくないです。適切な統計調査を実施いただくようお願いします。(20代・男性)
- 何をするにしても台東区の考え方は保守的で古臭い。原因は政治か役所か区民か。新しいことだけが良く、古いことだけが悪いわけではないが、とにかくもっと新陳代謝を増やして新しいこと、考え方を取り入れて欲しい。(50代・男性)
- アンケートの問答の数が多いと感じたので、次回行う場合は少ないほうが良いと感じました。(20代・男性)
- 意識調査内の選択肢が欲しい結果を得られるように意図的に作成されていると感じた(「上がった」「下がった」は当然だが「変わらない」が無い質問など)。設問が多い。同じような設問があり、減らせるはず。LGBTQを取り扱っているのに「男女、他」を回答に求めていることが矛盾している。(40代・男性)
- なにしているのかLINEで是非発信してほしい。(30代・女性)
- 区民があまり知らないのでは?と思うので発信してほしい。(30代・女性)
- なんでもかんでも一緒にすればよいというものではない。例えばトイレの男女共通化など、マイノリティを優遇するために女性が被害を被る例も出てきている。男女平等やセクシャルマイノリティを平等化するのも程々にすべき。一部の声に過敏になり過ぎている。(30代・男性)
- 意思決定する側の半数まで女性を増やす。(30代・男性)
- 台東区民が働いている台東区外の職場にも影響力があってほしいです。(40代・男性)
- 働き方に関しては、男女関係なく、育休どころか有給休暇すらしっかり取りにくい環境だと思う。法律通りにちゃんと有給休暇が取れれば、育休がなくても大丈夫なくらいだと思う。パート、アルバイトにも有給休暇があるのに、取れてない人が多いのではないかと思う。もっと経営者に法律を守るように、厳しくする必要があると思う。法律を守ると事業が成り立たないならば、そんな会社は存続すべきでないと思う。男女関係なく、そこが是正されれば(男性はもちろん)おのずと女性も働きやすくなると思う。勝手なイメージですが、民間より役所のほうが女性差別が大きいのでは

ないかと思う。知事だとか議員などの政治家には女性はまだいると思うが、役所の要職には女性が少ないのではないかと思う。一度データを出してほしい。よく女性の活躍が阻害されていると大騒ぎする新聞社などに、自分のところには女性の役員が一人もいなかったりする。台東区はそんなことにはなっていないませんか？(50代・男性)

- 男性寄り、女性寄りに偏ることなく、中立的な立場で推進してほしいと思います(政策などどうしても特定の政党に有利な施策のように感じてしまうことが多々あるため)。また、既婚未婚にかかわらず住みやすい街作り・偏見への撲滅にも取り組んで貰えればと思います。(30代・男性)
- 年齢層毎に対応策を検討する必要があるように感ずる。(50代・男性)
- 区議会のクォーター制導入。地域における歴史的に活躍していた女性を新たに発掘し光を当てる。(50代・男性)
- なんでもかんでも女性を登用する必要はないです。(30代・女性)
- 意識調査の回答選択肢に不備があった。区長以下執行部幹部の男女構成・年齢構成・多様性から見つめ直していただければと思います。(40代・男性)
- 公共トイレは従来通り男女別のトイレで設置してほしい。心が女性の方の利用を認めると、混乱して犯罪目的で利用する男性がいて不安です。(50代・女性)
- 女性だからという差別はよく聞きますが、男性だからという差別もあると思います。そういう視点も持ち合わせてこそ、男女平等だと思います。宜しくお願いします。(40代・男性)
- 情報などが周知されていないと感じています。(30代・女性)
- LGBTに配慮するのはいいが、過度にならないようにすべき。少数者ではあっても弱者じゃない。(30代・男性)
- 各家庭にポスティングされる台東区の広報に男女平等についての項目を作って周知してほしい。(40代・女性)
- 男女(に限らず)平等は良い事であり、推進するのは素晴らしいと思うが、平等を不自然に意識しすぎないよう気をつけたいところです。年齢、性

別に関わらず、それぞれが持つ能力を十分に発揮できる社会が望ましい。(40代・男性)

- 性平等に前向きな人は年々増えていると感じております。私自身も意識を高めていきたいです。(40代・男性)
- 台東区だけでなく、基本的に身体が違うんで同じことをするのは無理が多すぎます。もっと視点を変えるべきと思っています。女性しか出来ない事や男性にしか出来ない事があると思っているので、そういう方面で考えたほうが良いし、平等という言葉が勘違いしていると思っています。(50代・男性)
- 男女平等を推進していくには、形式的な制度の充実のみならず、人々の根本的な意識の改革が大切になってくると思うので、そういった面での情報発信を強化していくべきであると思います。(20代・男性)
- それぞれの家庭の事情があるのだから、役所から一律に押しつけることはよろしくない。(60代・男性)
- 夫の暴言、がなり声に長年苦しんでいるので、相談窓口を教えて欲しい。夫にも啓発してほしいので、今回のアンケートが来るまで知らなかった。警察の生活安全課に近々記録するとともに、今回のアンケートで相談できることを知った。詳しい情報が欲しい。(40代・女性)
- 世帯主がほとんど男性であることに違和感を覚えるようになった。男性が偉いとか上とかという意識は歴史が深く、変えていくことは容易ではないと感じる。未来を担う子供たちに対して大人が古い考えを伝えないように意識していくことがとても重要に思う。(40代・女性)
- 知らないことが多いので、郵便等でわかりやすく発信してほしいと思う。知る機会を作ってほしい。(30代・男性)
- このアンケートが長すぎる(60代・女性)
- 会議をリモートにしたり、女性の意見を小馬鹿にしない、当たり前を習慣化してほしい。(40代・女性)
- PTAが解散すれば良いと思います。例えば、台東区は学校等で家庭教育学級なるものを開催しておりますが、準備も然り当日の強制参加等が負担です。基本的にPTAの母親が仕事を請け負っている状態です。PTAの仕事があると賃金を得る仕事を制限されます。まずは、昭和からの当たり前を全部一掃するべきだと思います。(40代・女性)

- 体力的にも全て平等は難しいので、極端な平等にならないように願う。(40代・女性)
- 女性だけでなく、むしろ男性に「男女平等(差別をなくす)」の意味を理解して社会全体でそういう社会を作ることの重要性を理解して推進する必要がある。社会認識をどう変えていくかに注力が必要。(50代・女性)
- このアンケートの構成自体、男尊女卑の目線から作られているように感じて、少し気分が悪くなりました。現在の社会は確かに男尊女卑の文化が強く根付いていますが、それを本当に変えていこうと感じられない設問構成でした。夫婦別姓や同性婚の容認、男性の育児参画の通常化、育児への社会保障の充実化など、誰もが住みやすい社会の実現を願います。(20代・女性)